

院内がん登録統計 治療別パターンの集計方法

国立がん研究センターの全国集計 報告書と同様に、
当院でも、下記の分類で治療パターンの集計を行いました。

手術

外科的治療と鏡視下治療のいずれか、
または両方が実施された患者さんを合算しました。

薬物療法

化学療法、BRM（免疫機能補助）療法、内分泌療法の
いずれかが実施された患者さんを合算しました。

その他の治療

免疫療法、肝動脈塞栓術のような血管塞栓術、ラジオ波などの電子波を
用いた腫瘍焼灼術、腫瘍病巣にエタノール等の壊死性薬物を注入する
PEITなどが実施された患者さんを合算しました。

1. 手術のみ
2. 内視鏡のみ
3. 手術＋内視鏡（手術と内視鏡）
4. 放射線のみ
5. 薬物療法のみ
6. 放射線＋薬物
7. 薬物＋その他
8. 手術／内視鏡＋放射線（手術又は内視鏡と放射線）
9. 手術／内視鏡＋薬物療法（手術又は内視鏡と薬物療法）
10. 手術／内視鏡＋その他（手術又は内視鏡とその他の治療）
11. 手術／内視鏡＋放射線＋薬物療法（手術又は内視鏡と放射線と薬物療法）
12. その他の組み合わせ
13. 経過観察

参照：国立がん研究センター 全国集計報告書

※次ページ以降、集計値が4以下の場合、個人が特定されることを避けるためマスキングしています。